

科目名称	基礎看護技術III(診療に伴う技術)	学年学期	単位数	時間数
担当教員	村上 裕紀	1 学年前期	1	30
		授業に関わる実務経験	■ 有 (看護師) □ 無	

【1】授業概要

診察・検査・治療・処置における基礎看護技術を科学的根拠に基づき的確かつ安全・安楽に提供できるようになるために、診療に伴う各基礎看護技術提供に関する既習の知識を想起し、対象に応じた援助方法を学ぶ。

【2】学習目標

1. 診察・検査・治療・処置について原理・原則に基づいた基本的援助方法および看護師の役割を説明できる。
2. 診察・検査・治療・処置における対象者の身体的侵襲、精神的影響について説明できる。
3. 1 および 2 に基づき、事例に応じた皮下注射・筋肉内注射・静脈血採血・点滴静脈注射(輸液ポンプ含む)・直腸内与薬・包帯法について医療安全を意識しながら実施でき、今後の看護ケアに活かせるよう振り返り考察できる。
4. 看護技術のエビデンスは、日々進歩し続けていることを理解し、学び続けることの必要性を理解できる。

【3】第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけることにつながります。

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種連携・協働
- 6. 地域医療の理解と支援
- 7. 主体的な学習

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	罨法(苦痛の緩和・安楽確保)	講義
2	創傷管理・褥瘡予防	講義
3	与薬の技術	講義
4	与薬の技術・注射 I	講義・DVD
5	与薬の技術・注射 II	講義・DVD
6	輸血管理	講義
7	検体検査	講義
8	生体検査	講義
9	検査・処置の介助	講義
10	包帯法	講義・演習
11	事例に応じた看護技術①	演習
12	事例に応じた看護技術②	演習
13	試験・まとめ	

【5】評価方法

科目評価は、筆記試験(70%)、与薬に関するレポート内容(10%)、ミニテスト(10%)、演習課題(10%)、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】教科書

任和子:系統看護学講座 専門分野 基礎看護学(3) 基礎看護技術II, 医学書院, 2022年

【7】参考書

竹尾恵子 監修:医療安全と感染管理をふまえた看護技術プラクティス 第3版, 学研, 2015年

猪又克子、清水芳 監修:臨床看護技術パーソナルナビ, 学研, 2009年

【8】受講生へのメッセージ